

2021年2月5日

報道関係各位

広島県信用保証協会
株式会社日本政策金融公庫

第207回 信用保証利用企業動向調査

〔 2020年 10月 ～ 12月期 実績 〕
〔 2021年 1月 ～ 3月期 見通し 〕

この調査は、県内中小企業の景況および金融動向を把握するために、日本政策金融公庫と共同で、広島県信用保証協会を利用されている企業のみなさまのご協力により、アンケートを実施いたしました。

12月中旬に県内1,095企業を対象にアンケートを実施し、313企業より回答をいただいております。

概 況

生産・売上げ

減少度合いやや弱まる

採算

悪化度合い横ばい

資金繰り

悪化度合い横ばい

資金の借入難易感

悪化度合い強まる

がんばる企業の味方じゃけん！ ～あなたの「元気」強力サポート～



広島県信用保証協会
HIROSHIMA GUARANTEE

＜お問い合わせ先＞

総務企画部 経営企画課（担当：平西・央戸）
〒730-8691 広島市中区上幟町3番27号
TEL (082) 222-8403
FAX (082) 222-5375

第207回 信用保証利用企業動向調査 (2020年10~12月期)

この調査は、広島県信用保証協会をご利用いただいている中小企業者・小規模事業者のみなさまの景況及び金融動向を把握するために、日本政策金融公庫と共同で、四半期ごとに実施しております。

《今回の調査》

- 【実施時期】 2020年12月中旬
- 【対象企業】 1,095企業
- 【有効回答数】 313企業（回答率28.6%）
- 【調査方法】 封書によるアンケート調査

景気動向指数D.I. (Diffusion Index) とは…

D.I.とは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、「増加（または好転・容易）」と回答した企業割合から、「減少（または悪化・困難）」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因（季節調整値）を控除した数値のことです。

概況

生産・売上げ

D.I.: 今期 ▲35.2 次期 ▲32.5

減少度合いやや弱まる

採算

D.I.: 今期 ▲36.7 次期 ▲31.7

悪化度合い横ばい

資金繰り

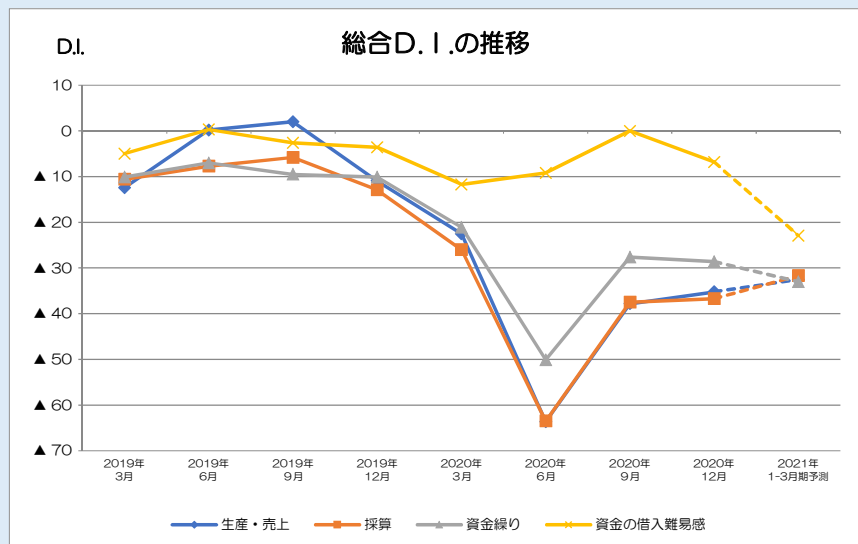
D.I.: 今期 ▲28.6 次期 ▲33.0

悪化度合い横ばい

資金の借入難易感

D.I.: 今期 ▲6.8 次期 ▲22.9

悪化度合い強まる



＜お問い合わせ先＞

広島県信用保証協会 総務企画部 経営企画課 平西・宍戸
電話082(222)8403

生産・売上げ

減少度合いやや弱まる

	今期	次期見通し
製造業	8.1pt 好転 ↑	0.3pt 好転 ↑
建設業	8.5pt 悪化 ↓	4.2pt 好転 ↑
卸売業	15.7pt 悪化 ↓	0.5pt 悪化 ↓
小売業	21.2pt 好転 ↑	1.3pt 好転 ↑
サービス業	4.6pt 好転 ↑	4.4pt 好転 ↑
総合	2.6pt 好転 ↑	2.7pt 好転 ↑

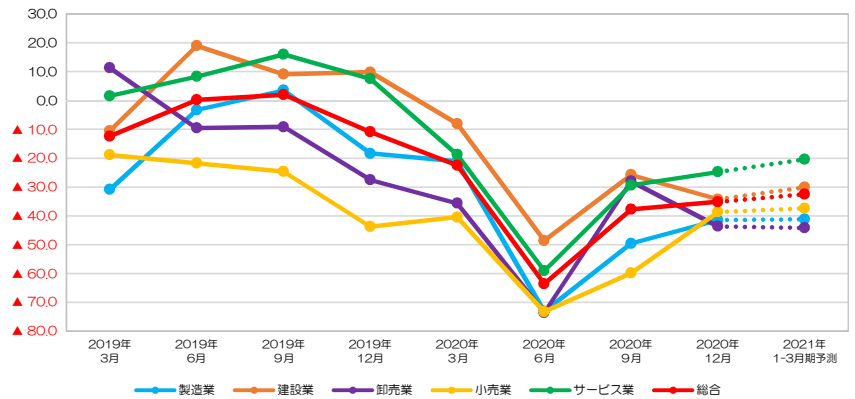
今期

引き続きマイナスで推移しており、その減少度合いは前期に比べやや弱まっている。

次期見通し

マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

D.I. 生産・売上げD.I.の動き



調査時点 (各月中旬)	2019年 3月	2019年 6月	2019年 9月	2019年 12月	2020年 3月	2020年 6月	2020年 9月	2020年 12月	2021年 1-3月期予測
製造業	▲30.9	▲3.3	3.5	▲18.4	▲21.2	▲73.2	▲49.6	▲41.5	▲41.2
建設業	▲10.6	19.0	9.1	9.8	▲8.1	▲48.6	▲25.8	▲34.3	▲30.1
卸売業	11.3	▲9.6	▲9.2	▲27.6	▲35.7	▲73.6	▲28.0	▲43.7	▲44.2
小売業	▲18.9	▲21.8	▲24.7	▲43.8	▲40.5	▲73.3	▲59.9	▲38.7	▲37.4
サービス業	1.6	8.3	16.0	7.5	▲18.8	▲59.1	▲29.4	▲24.8	▲20.4
総合	▲12.4	0.2	2.0	▲10.9	▲22.5	▲63.6	▲37.8	▲35.2	▲32.5

採算

悪化度合い横ばい

	今期	次期見通し
製造業	5.4pt 好転 ↑	0.7pt 好転 ↑
建設業	3.0pt 悪化 ↓	9.5pt 好転 ↑
卸売業	29.5pt 悪化 ↓	13.3pt 好転 ↑
小売業	8.8pt 好転 ↑	4.6pt 好転 ↑
サービス業	9.1pt 好転 ↑	0.9pt 悪化 ↓
総合	0.8pt 好転 ↑	5.0pt 好転 ↑

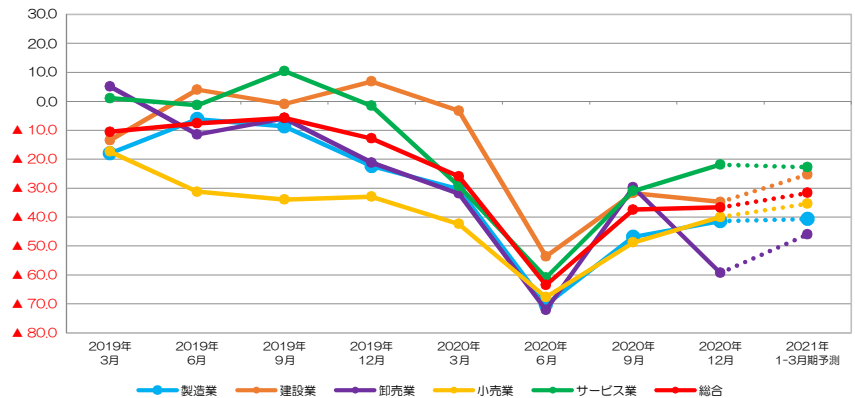
今期

引き続きマイナスで推移しており、その悪化度合いは前期に比べ横ばいとなっている。

次期見通し

マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

D.I. 採算D.I.の動き



調査時点 (各月中旬)	2019年 3月	2019年 6月	2019年 9月	2019年 12月	2020年 3月	2020年 6月	2020年 9月	2020年 12月	2021年 1-3月期予測
製造業	▲18.0	▲6.2	▲8.7	▲22.4	▲30.4	▲70.3	▲46.8	▲41.4	▲40.7
建設業	▲13.5	4.0	▲1.0	6.8	▲3.3	▲53.6	▲31.8	▲34.8	▲25.3
卸売業	5.1	▲11.5	▲5.9	▲21.2	▲31.9	▲72.1	▲29.8	▲59.3	▲46.0
小売業	▲17.4	▲31.3	▲34.0	▲33.0	▲42.4	▲67.7	▲48.8	▲40.0	▲35.4
サービス業	1.0	▲1.4	10.4	▲1.6	▲29.3	▲60.9	▲31.0	▲21.9	▲22.8
総合	▲10.6	▲7.7	▲5.8	▲12.9	▲26.0	▲63.5	▲37.5	▲36.7	▲31.7

資金繰り

悪化度合い横ばい

	今 期	次期見通し
製 造 業	1.1pt 悪化 ↓	11.6pt 悪化 ↓
建 設 業	10.1pt 悪化 ↓	5.3pt 悪化 ↓
卸 売 業	5.0pt 悪化 ↓	14.8pt 悪化 ↓
小 売 業	13.4pt 好転 ↑	0.0pt 不変 →
サ ー ビ ス 業	2.5pt 好転 ↑	3.7pt 好転 ↑
総 合	1.0pt 悪化 ↓	4.4pt 悪化 ↓

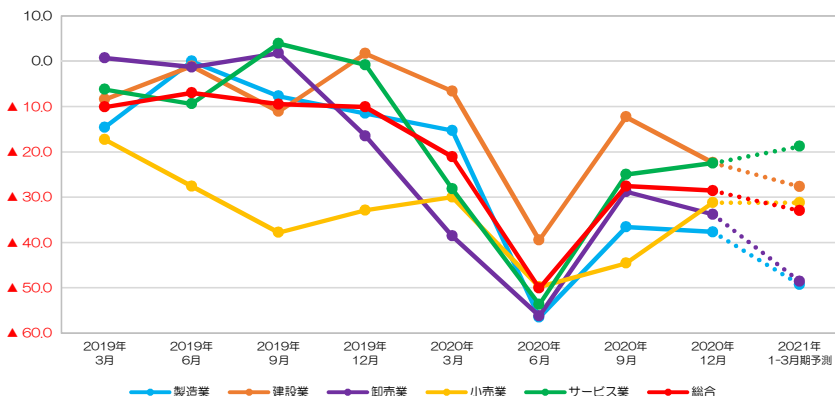
今 期

引き続きマイナスで推移しており、その悪化度合いは前期に比べ横ばいとなっている。

次期見通し

マイナス幅が拡大する見通しとなっている。

DI. 資金繰りD.I.の動き



調査時点 (各月中旬)	2019年 3月	2019年 6月	2019年 9月	2019年 12月	2020年 3月	2020年 6月	2020年 9月	2020年 12月	2021年 1-3月期予測
製 造 業	▲ 14.6	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 15.3	▲ 56.5	▲ 36.6	▲ 37.7	▲ 49.3
建 設 業	▲ 8.4	▲ 1.1	▲ 11.1	1.7	▲ 6.6	▲ 39.5	▲ 12.3	▲ 22.4	▲ 27.7
卸 売 業	0.7	▲ 1.3	1.8	▲ 16.5	▲ 38.6	▲ 56.2	▲ 28.8	▲ 33.8	▲ 48.6
小 売 業	▲ 17.3	▲ 27.6	▲ 37.8	▲ 32.9	▲ 30.0	▲ 49.8	▲ 44.6	▲ 31.2	▲ 31.2
サ ー ビ ス 業	▲ 6.2	▲ 9.4	3.9	▲ 0.8	▲ 28.2	▲ 53.7	▲ 25.0	▲ 22.5	▲ 18.8
総 合	▲ 10.1	▲ 7.0	▲ 9.5	▲ 10.1	▲ 21.1	▲ 50.1	▲ 27.6	▲ 28.6	▲ 33.0

資金の借入難易感

悪化度合い強まる

	今 期	次期見通し
製 造 業	11.6pt 悪化 ↓	20.8pt 悪化 ↓
建 設 業	10.5pt 悪化 ↓	15.3pt 悪化 ↓
卸 売 業	18.6pt 悪化 ↓	3.8pt 悪化 ↓
小 売 業	8.1pt 好転 ↑	23.2pt 悪化 ↓
サ ー ビ ス 業	3.8pt 悪化 ↓	14.0pt 悪化 ↓
総 合	6.8pt 悪化 ↓	16.1pt 悪化 ↓

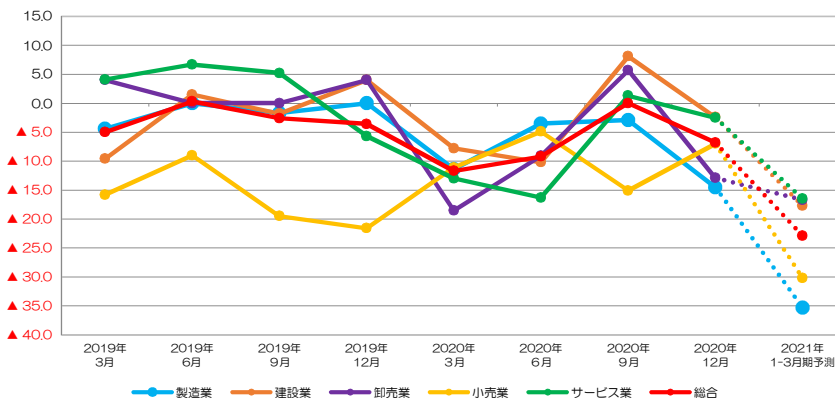
今 期

ゼロからマイナス転換となっている。

次期見通し

マイナス幅が拡大する見通しとなっている。

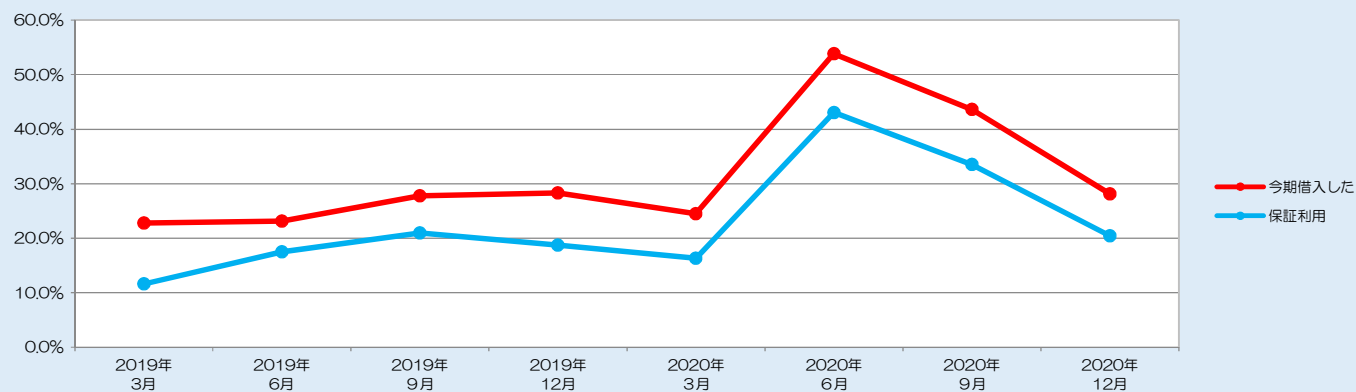
DI. 資金の借入難易感D.I.の動き



調査時点 (各月中旬)	2019年 3月	2019年 6月	2019年 9月	2019年 12月	2020年 3月	2020年 6月	2020年 9月	2020年 12月	2021年 1-3月期予測
製 造 業	▲ 4.4	0.0	▲ 1.7	0.0	▲ 11.4	▲ 3.5	▲ 2.9	▲ 14.5	▲ 35.3
建 設 業	▲ 9.6	1.5	▲ 1.8	4.0	▲ 7.8	▲ 10.2	8.1	▲ 2.4	▲ 17.7
卸 売 業	4.0	0.0	0.0	4.0	▲ 18.5	▲ 9.1	5.7	▲ 12.9	▲ 16.7
小 売 業	▲ 15.8	▲ 9.0	▲ 19.5	▲ 21.6	▲ 11.1	▲ 4.9	▲ 15.1	▲ 7.0	▲ 30.2
サ ー ビ ス 業	4.1	6.7	5.2	▲ 5.7	▲ 13.0	▲ 16.3	1.3	▲ 2.5	▲ 16.5
総 合	▲ 5.0	0.3	▲ 2.6	▲ 3.6	▲ 11.7	▲ 9.2	0.0	▲ 6.8	▲ 22.9

今期の借入及び信用保証利用状況

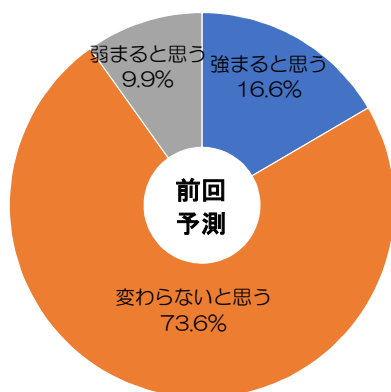
今期の借入及び信用保証利用状況



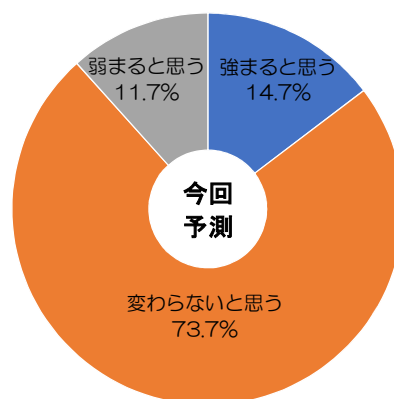
	2019年3月	2019年6月	2019年9月	2019年12月	2020年3月	2020年6月	2020年9月	2020年12月
今期借入した	22.8%	23.1%	27.8%	28.3%	24.5%	53.8%	43.6%	28.1%
保証利用	11.6%	17.5%	20.9%	18.7%	16.3%	43.1%	33.5%	20.4%
全額利用	8.6%	12.8%	15.8%	12.3%	12.0%	32.3%	27.4%	15.7%
半分以上	0.9%	2.1%	2.1%	3.2%	3.9%	6.2%	4.9%	3.2%
半分未満	2.1%	2.7%	3.0%	3.2%	0.4%	4.6%	1.2%	1.6%
保証利用なし	11.2%	5.6%	6.8%	9.6%	8.2%	10.8%	10.1%	7.7%

信用保証利用に対する金融機関の要請（次期予測）

2020年9月期における次期予測



2020年12月期における次期予測



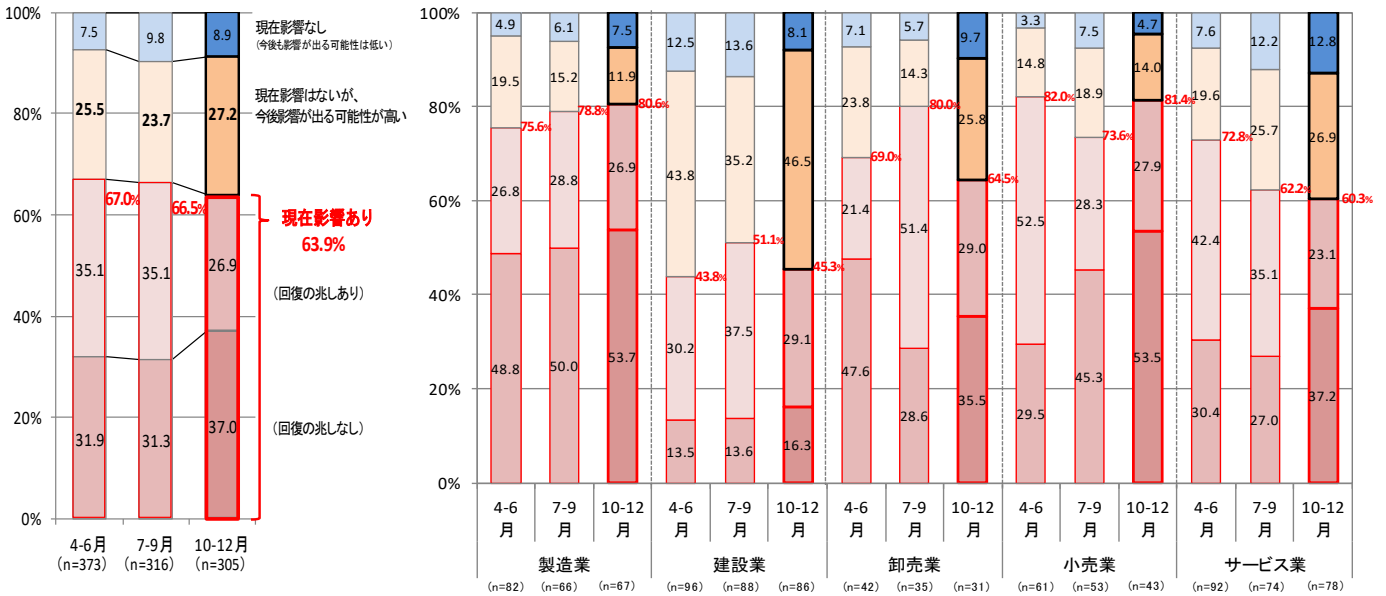
調査へのご協力ありがとうございました

特別調査 — 新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について —

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響について、「現在影響あり」と回答した企業は63.9%と、前回調査に比べ低下しているが、「現在影響はないが、今後影響が出る可能性が高い」と回答した企業は27.2%に上昇している。
- ・業種別にみると、建設業を除く全ての業種で、「現在影響あり」が引き続き6割以上となっている。

(1) 企業活動へのマイナスの影響 (2) 企業活動へのマイナスの影響(業種別)

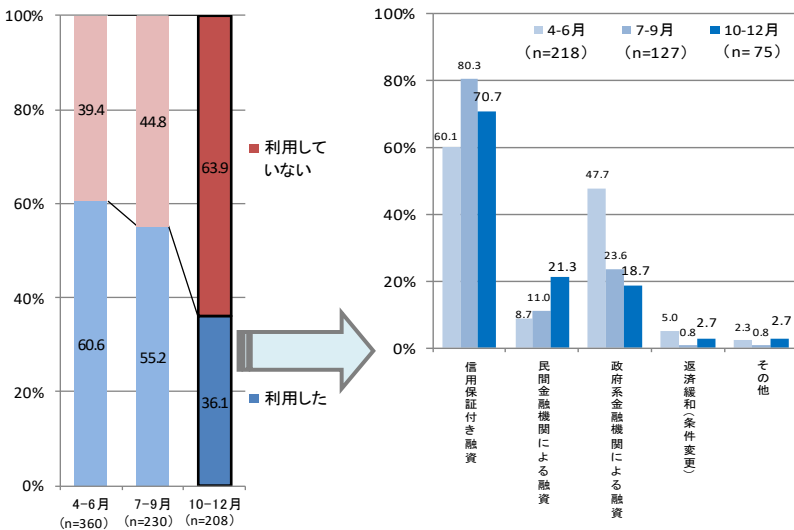


(注)「現在影響あり」は「現在影響あり(回復の兆しあり)」「同(回復の兆しなし)」の回答企業数の合計から割合を算出

2. 金融支援の利用状況について

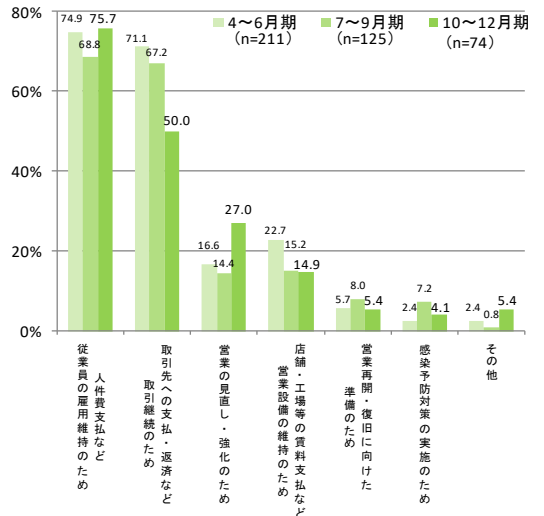
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金繰り対策として、20年10～12月に金融支援を「利用した」と回答した企業は36.1%に低下している。また、利用した金融支援をみると、「信用保証付き融資」が70.7%と最も高い。
- ・金融支援を利用した理由については、「人件費支払など従業員の雇用維持のため」が最も多く、次いで「既存の取引先(仕入・外注・借入先等)への支払・返済など取引継続のため」が続いている。

(1) 金融支援の利用状況



(注)4-6月は、20年3月における金融支援の利用を含む。
(本頁における他のグラフ内の「4～6月」も同じ)

(2) 金融支援を利用した理由



(注)1) 複数回答のため、合計は100%を超える。

(注)2) 信用保証付き融資や政府系金融機関による融資には、当該融資を利用する前提で利用された民間金融機関のつなぎ融資を含む。

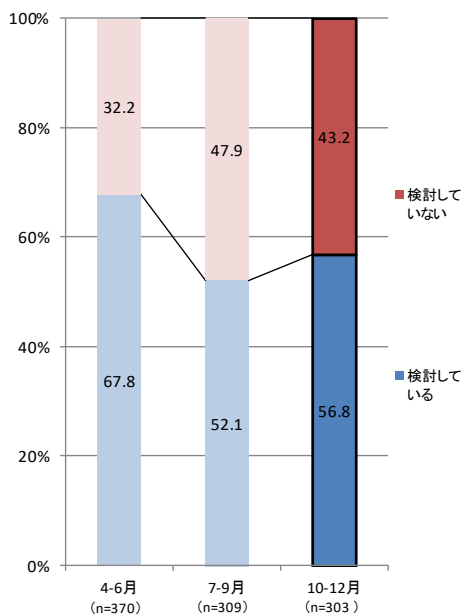
(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。

特別調査 — 新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について —

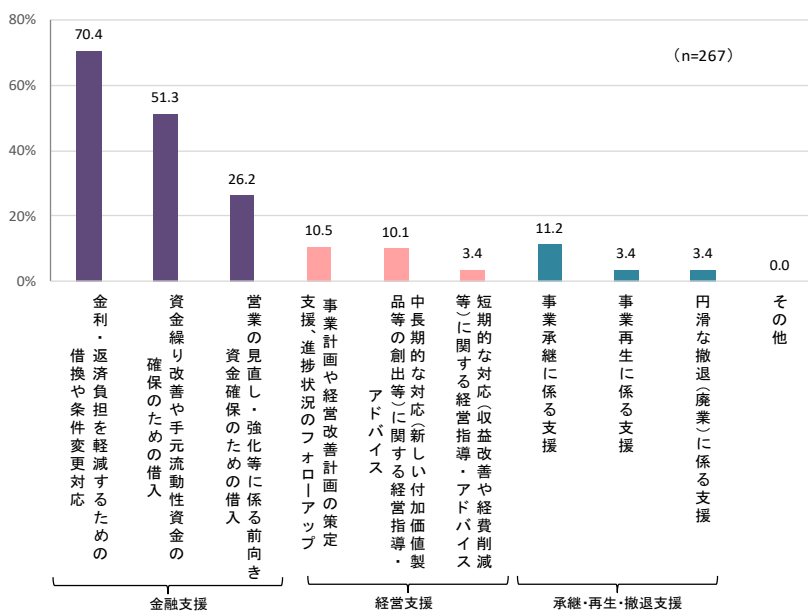
3. 今後の金融支援の利用に係る検討状況について

- ・今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討している」と回答した企業が56.8%と前回調査と比べて増加している。
- ・今後、必要とする金融支援等については、「金利・返済負担を軽減するための借換や条件変更対応」が最も高く、次いで「資金繰り改善や手元流動性資金の確保のための借入」、「営業の見直し・強化等に係る前向き資金確保のための借入」が続いており、金融支援のニーズが高くなっている。

(1) 今後の金融支援の利用に係る検討状況



(2) 今後、必要とする金融支援等について



(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。